

SP5000 シリーズ(ディスプレイモジュール) 取扱説明書



ご使用の前に必ず、別紙の「安全に関する使用上の注意」をお読みください。

安全上のご注意

重要な情報	5
-------------	---

型式一覧

型式一覧	7
------------	---

概要

梱包内容	8
マニュアルについて	9
グローバルコードについて	9

各部名称

SP-5500TP	10
SP-5600TP/5660TP	11
SP-5700TP	12
SP-5400WA	13
SP-5500WA	14
SP-5600WA	15
LED 表示	16

仕様

電氣的仕様	17
環境仕様	19

取り付け

パネルカット寸法	20
取り付け条件	21
取り付け手順	27
取り外し手順	31

配線

配線	34
----------	----

フロント USB カバー

フロント USB カバー	41
--------------------	----

フロント USB ポート

フロント USB ポート	44
--------------------	----

規格

規格.....	47
---------	----

重要な情報

注記

本書をよくお読みいただき、装置の正しい取り扱いと機能を十分ご理解いただいた上で、設置、操作、保守を行なってください。本書および装置には以下の表示が使われています。これらは潜在的な危険を警告したり、手順を明確化あるいは簡素化する情報について注意を呼びかけるものです。



この記号が「危険」または「警告」安全ラベルに追加されると、電気的な危険が存在し、指示に従わないと人身傷害の危険があることを示します。



安全警告記号です。人的傷害の危険性があることを警告します。
この記号の後に記載された安全に関する情報に従って、人的傷害や死亡の危険性を回避してください。

⚠ 危険

危険は、危険が生じる可能性のある状況を示します。回避しないと、死亡や重傷を招きます。

⚠ 警告

警告は、危険が生じる可能性のある状況を示します。回避しないと、死亡や重傷を招くおそれがあります。

⚠ 注意

注意は、危険が生じる可能性のある状況を示します。回避しないと、軽傷を招くおそれがあります。

注記

この表示は、指示に従わないと物的損害を負う可能性があることを示します。

以下の点に注意してください。

電気装置の設置、操作、サービス、および保守は有資格者のみが行うことができます。定められた範囲外の使用によって生じた結果については、(株)デジタルは一切の責任を負いかねます。

有資格者とは、電気装置の構造および操作ならびに設置に関する技術と知識を持ち、関連する危険性を認識して回避するために安全性に関するトレーニングを受けた人を指します。

型式一覧

シリーズ名		機種名	型式
SP5000 シリーズ	プレミアム ディスプレイ	SP-5500TP	PFXSP5500TPD
		SP-5600TP	PFXSP5600TPD
		SP-5660TP	PFXSP5660TPD
		SP-5700TP	PFXSP5700TPD
	アドバンスド ディスプレイ	SP-5400WA	PFXSP5400WAD
		SP-5500WA	PFXSP5500WAD
		SP-5600WA	PFXSP5600WAD

注記：これらの機種は、SP5000 シリーズ ボックスモジュールの全機種と接続できます。ボックスモジュールの型式については、SP5000 シリーズ (ボックスモジュール) 取扱説明書の「機種名」を参照してください。

概要

梱包内容

梱包には、以下のアイテムが入っています。ご使用前に、以下のアイテムがすべて揃っていることを確認してください。

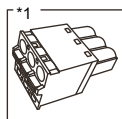
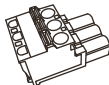
1



2



3



- 1 SP5000 シリーズ ディスプレイモジュール : 1
- 2 防滴ガスケット : 1 (本体に装着)
- 3 DC 電源コネクタ (ライトアングル^{*1}) : 1
- 4 SP5000 シリーズ (ディスプレイモジュール) 取扱説明書 (本書) : 1
- 5 安全に関する使用上の注意 : 1

^{*1} SP-5400WA にはストレートタイプが同梱されています。

品質や梱包などには出荷時に際し、万全を期しております。万一破損や部品不足、その他お気づきの点がありましたら、直ちに販売店までご連絡くださいますようお願いいたします。

マニュアルについて

本書は製品の配線・設置について説明しています。このほか詳細な情報は、**SP5000 シリーズハードウェア マニュアル**を参照してください。
本書は、サポート専用ウェブサイト「おたすけ Pro!」からダウンロードできます。

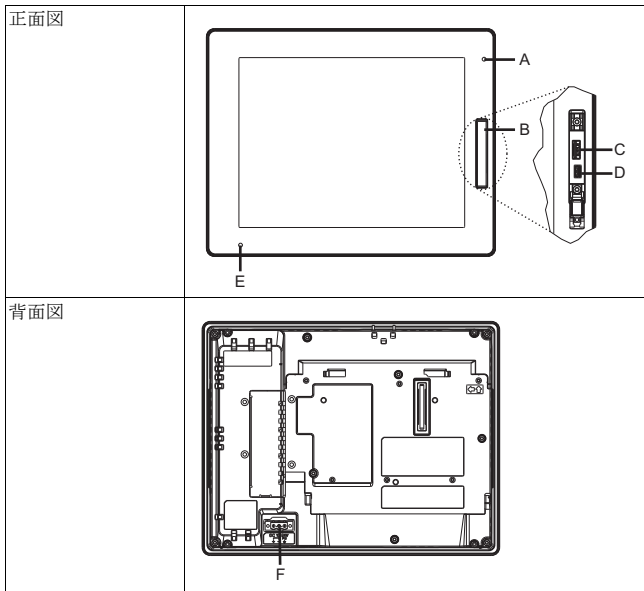
<http://www.proface.co.jp/otasuke>

グローバルコードについて

(株) デジタル製品すべてに全世界共通型式としてグローバルコードが設定されています。

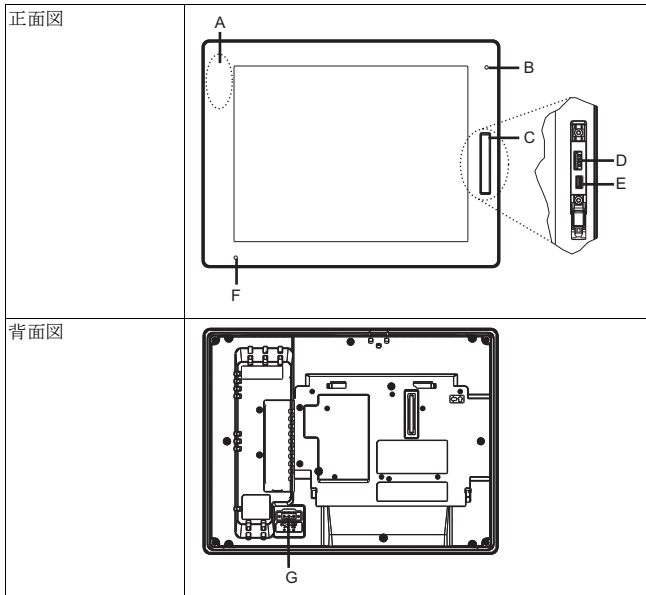
製品型式とグローバルコードの対比は下記 URL を参照してください。

<http://www.proface.co.jp/product/globalcode.html>



- A : 輝度センサー
- B : フロント USB カバー
- C : USB (Type A) インターフェイス
- D : USB (mini-B) インターフェイス
- E : ステータス LED (16 ページ参照)
- F : 電源コネクタ

SP-5600TP/5660TP



A: 無線 LAN アンテナ (SP-5660TP のみ)

B: 輝度センサー

C: フロント USB カバー

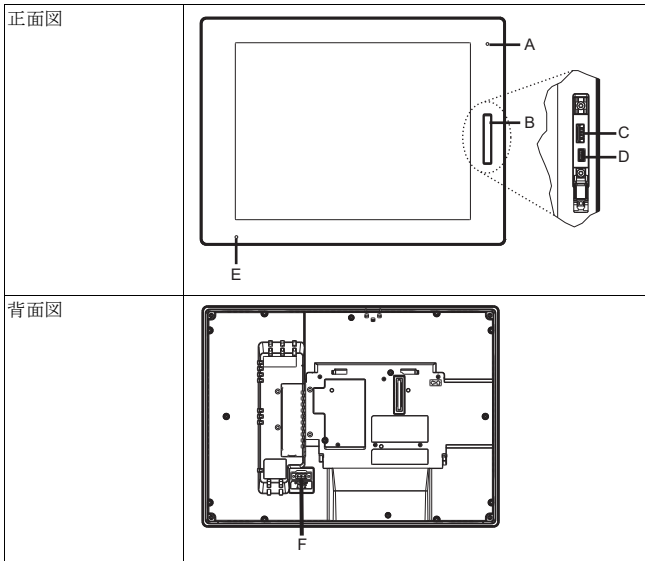
D: USB (Type A) インターフェイス

E: USB (mini-B) インターフェイス

F: ステータス LED (16 ページ参照)

G: 電源コネクタ

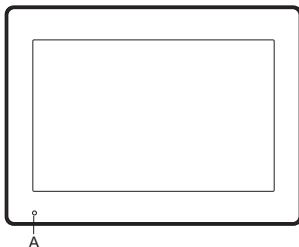
SP-5700TP



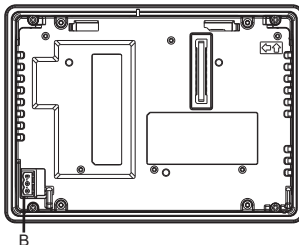
- A : 輝度センサー
- B : フロント USB カバー
- C : USB (Type A) インターフェイス
- D : USB (mini-B) インターフェイス
- E : ステータス LED (16 ページ参照)
- F : 電源コネクタ

SP-5400WA

正面図



背面図

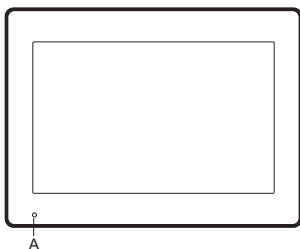


A : ステータス LED (16 ページ参照)

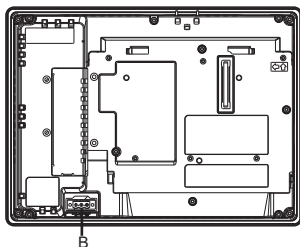
B : 電源コネクタ

SP-5500WA

正面図



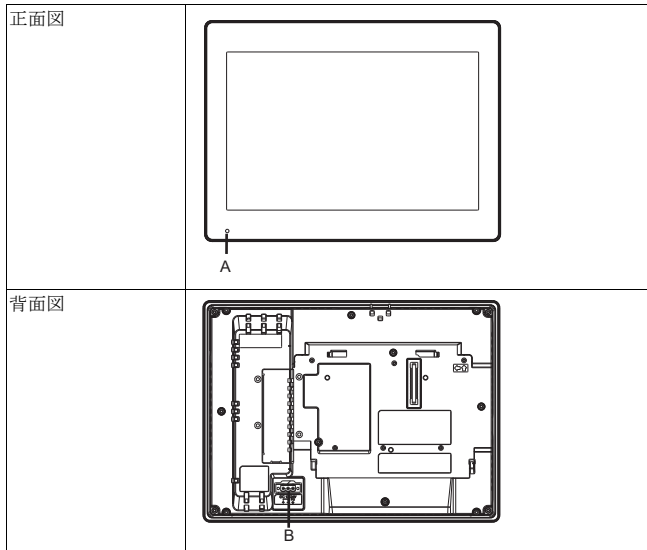
背面図



A : ステータス LED (16 ページ参照)

B : 電源コネクタ

SP-5600WA



A : ステータス LED (16 ページ参照)

B : 電源コネクタ

LED 表示

ステータス LED

色	状態	SP-5B10 接続時		SP-5B40 接続時	
		HMI 動作	ロジックプログラム動作*1	HMI 動作	ロジックプログラム動作*1
緑色	点灯	オフライン	-	オフライン	-
		運転中	RUN	運転中	RUN
	点滅	運転中	STOP	運転中	STOP
	ホタル点灯	バックライト消灯時 (スタンバイモード)			
橙色	点滅	ソフトウェア起動中			
赤色	点灯	電源投入時			
	点滅	運転中	メジャー異常	運転中	メジャー異常
赤色 / 緑色	交互	ボックスモジュール接続異常			
橙色 / 赤色	交互	SD カード ブート異常		-	
橙色 / 赤色 / 緑色	交互	ディスプレイモジュール接続異常			
-	消灯	無通電時			

^{*1} ご使用の画面作成ソフトウェアがロジックプログラムに対応している場合のみ。

注記： SP-5B40 接続時は、システムを停止してもディスプレイモジュールに電源が供給されている間はディスプレイモジュールのステータス LED は赤色点灯を継続します。

電氣的仕様

SP-5500TP/5600TP/5660TP/5700TP

仕様		SP-5500TP	SP-5600TP	SP-5660TP	SP-5700TP
電源 (消費電力 の電力損失を含む)	定格電圧	12...24 Vdc			
	電圧許容範囲	10.8...28.8 Vdc			
	許容瞬時停電時間	12 Vdc : 1.25 ms 以下 24 Vdc : 5 ms 以下			
	最大 (ボックスモジュールも含む)	50 W	56 W	58 W	57 W
	最大 (ディスプレイモジュールのみ)*1	15 W	21 W	23 W	22 W
	外部への供給電源を除いた場合 (ディスプレイモジュールのみ)*1	12 W 以下	18 W 以下	20 W 以下	19 W 以下
	バックライト消灯時 (スタンバイモード) (ディスプレイモジュールのみ)*1	6 W 以下		8 W 以下	6 W 以下
	バックライト調光時 (輝度 20%) (ディスプレイモジュールのみ)*1	8 W 以下	11 W 以下	13 W 以下	11 W 以下
突入電流		30 A 以下			
絶縁耐力		1,000 Vac、20mA 1 分間 (充電部端子と FG 端子間)			
絶縁抵抗		500 Vdc、10 MΩ 以上 (充電部端子と FG 端子間)			

*1 ボックスモジュールとディスプレイモジュール結合時の消費電力は、ご使用のボックスモジュールおよびディスプレイモジュールのそれぞれの消費電力値を足した値になります。

SP-5400WA/5500WA/5600WA

仕様		SP-5400WA	SP-5500WA	SP-5600WA
電源 消費電力 (電源の電力損失を含む)	定格電圧	12...24 Vdc		
	電圧許容範囲	10.8...28.8 Vdc		
	許容瞬時停電時間	12 Vdc : 1.25 ms 以下 24 Vdc : 5 ms 以下		
	最大 (ボックスモジュールも含む)	41 W	43 W	45 W
	最大 (ディスプレイモジュールのみ)*1	6.5 W	8.5 W	11.5 W
	外部への供給電源を除いた場合 (ディスプレイモジュールのみ)*1	-		
	バックライト消灯時 (スタンバイモード) (ディスプレイモジュールのみ)*1	2 W 以下	2.5 W 以下	2.5 W 以下
	バックライト調光時 (輝度 20%) (ディスプレイモジュールのみ)*1	4 W 以下	5 W 以下	6 W 以下
突入電流		30 A 以下		
絶縁耐力		1,000 Vac、20 A 1 分間 (充電部端子と FG 端子間)		
絶縁抵抗		500 Vdc、10 MΩ 以上 (充電部端子と FG 端子間)		

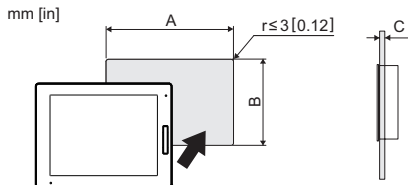
*1 ボックスモジュールとディスプレイモジュール結合時の消費電力は、ご使用のボックスモジュールおよびディスプレイモジュールのそれぞれの消費電力値を足した値になります。

環境仕様

物理的環境	使用周囲温度	0...60 °C (32...140 °F)
	保存周囲温度	-20...60 °C (-4...140 °F)
	使用および保存周囲湿度	10...90% RH (結露のないこと、湿球温度 39 °C [102.2 °F] 以下)
	じんあい	0.1 mg/m ³ (10 ⁻⁷ oz/ft ³) 以下 (導電性塵埃のないこと)
	汚染度	汚染度 2

パネルカット寸法

パネルカット寸法に従って、取り付け穴を開けます。



機種名	A	B	C
SP-5500TP	259 ⁺¹ ₋₀ mm (10.2 ^{+0.04} ₋₀ in)	201 ⁺¹ ₋₀ mm (7.91 ^{+0.04} ₋₀ in)	1.6... 5 mm (0.06... 0.2 in)
SP-5600TP/ 5660TP	301.5 ⁺¹ ₋₀ mm (11.87 ^{+0.04} ₋₀ in)	227.5 ⁺¹ ₋₀ mm (8.96 ^{+0.04} ₋₀ in)	
SP-5700TP	383.5 ⁺¹ ₋₀ mm (15.1 ^{+0.04} ₋₀ in)	282.5 ⁺¹ ₋₀ mm (11.12 ^{+0.04} ₋₀ in)	
SP-5400WA	190 ⁺¹ ₋₀ mm (7.48 ^{+0.04} ₋₀ in)	135 ⁺¹ ₋₀ mm (5.31 ^{+0.04} ₋₀ in)	
SP-5500WA	255 ⁺¹ ₋₀ mm (10.04 ^{+0.04} ₋₀ in)	185 ⁺¹ ₋₀ mm (7.28 ^{+0.04} ₋₀ in)	
SP-5600WA	295 ⁺¹ ₋₀ mm (11.61 ^{+0.04} ₋₀ in)	217 ⁺¹ ₋₀ mm (8.54 ^{+0.04} ₋₀ in)	

取り付け条件

本製品は、タイプ 1、タイプ 4X (室内専用) またはタイプ 13 エンクロージャの平面上に取り付けられるように設計されています。

本製品は清潔で乾燥し、かつ管理された頑丈な環境を提供するエンクロージャにパネルを取り付けてください (IP65F^{*1}、IP66F^{*1}、IP67F^{*1}、タイプ 1、タイプ 4X [室内専用]、またはタイプ 13 エンクロージャ)。

アドバンストディスプレイ用には、フロント面は、IP66F^{*1}、IP67F^{*1}、タイプ 1、タイプ 4X (室内専用) またはタイプ 13 エンクロージャとなります。

プレミアムディスプレイでは、工場出荷時に取り付け済みのフロント USB カバー (ネジなし) を使用する場合、フロント面は、IP65F^{*1}、IP67F^{*1} またはタイプ 1 エンクロージャとなります。フロント USB カバーに (株) デジタル製フロント USB カバー (ネジ付き^{*2}) (型式: PFXZCDCVUS1) をご使用の場合、本製品のフロント面は、IP66F^{*1}、IP67F^{*1}、タイプ 1、タイプ 4X (室内専用) またはタイプ 13 エンクロージャとなります。

表示器フロント面		アドバンスト ディスプレイ	エンクロージャ フロント面
ネジ無し	ネジ付き		
IP65F、 IP67F、 タイプ 1	IP66F、 IP67F、 タイプ 1、 タイプ 4X (室内専用)、 タイプ 13	IP66F、IP67F、 タイプ 1、タイプ 4X (室内専用)、 タイプ 13	IP65F、IP66F、 IP67F、タイプ 1、 タイプ 4X (室内専用)、 タイプ 13

工場出荷時に取り付け済みのフロント USB カバー、またはネジ付きフロント USB カバーのいずれかをご使用の場合も、フロント USB カバーが開いている状態のときは、本製品のフロント面は、タイプ 1 エンクロージャとなります。

本製品を機器に組み込む場合は、以下の事項にご注意ください。

- ・本製品の背面部はエンクロージャとして認定されていません。本製品を機器に組み込む際は、機器全体として規格に適合するエンクロージャを構成してください。
- ・本製品は室内専用器として使用してください。
- ・本製品は前面取り付けで使用してください。

^{*1} IP65F、IP66F および IP67F は UL 認証には該当しません。

^{*2} 適正な締め付けトルクは 0.5 N・m (4.4 lb-in) です。

⚠ 注意

火傷のおそれ

操作中はヒートシンクに触れないでください。

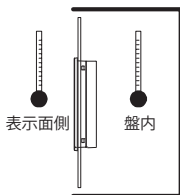
上記の指示に従わないと、傷害または物的損害を負う可能性があります。

設置する壁またはケースの面が平坦で、良好な状態にあり、尖った角がないことを確認してください。壁内側のパネルカット付近に金属製の補強版を取り付けることで、強度を向上させることができます。

必要な強度レベルに基づいて、エンクロージャ壁面の厚さを 1.6 ～ 5 mm (0.06 ～ 0.2 in) で決定します。

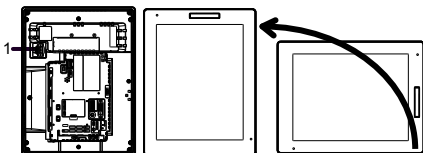
パネル厚範囲であっても、パネルの材質、大きさによっては本製品や接続機器の取り付け位置によりパネルが反る場合があります。パネルの反りを防止するためには、補強板をつけることも有効です。

使用周囲温度と使用周囲湿度が指定の範囲内にあることを確認してください。使用周囲温度：0 ～ 60 °C (32 ～ 140 °F) (本製品の環境仕様をご覧ください。)、使用周囲湿度、10 ～ 90% RH (湿球温度：39 °C [102 °F] 以下) で使用してください。本製品をケースやエンクロージャに組み込んで使用する場合は、盤内と表示面側の両方の温度を使用周囲温度としてください。



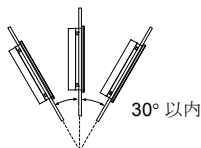
他の機器の発熱で本製品が過熱しないようにしてください。

縦取り付けの場合は、本製品の右側面が上になっていることを確認してください。つまり、DC 電源コネクタが上になるようにしてください。



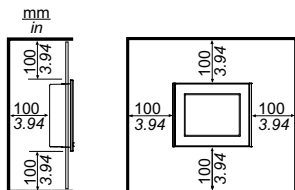
1 電源コネクタ

本製品を斜めに設置する場合は、垂直より 30° 以内にしてください。



本製品を垂直より 30° を越えて設置する場合は、使用周囲温度が 40°C (104°F) 以下になるようにしてください。必要に応じて強制空冷 (ファン、エアコン) を行ってください。

保守性、操作性、および風通しを良くするため、本製品と構造物や部品との間は 100 mm (3.94 in) 以上のスペースをとってください。



ストレージカードを挿入または取り外すために十分なスペースを設けてください。

無線 LAN モデルでは、無線 LAN アンテナの部分を手や体、その他の物でふさがないようにしてください。アンテナがふさがれていると、無線 LAN 通信で干渉が発生する可能性があります。

無線 LAN モデル

警告

電磁干渉、電波干渉

無線 LAN モデルの使用制限に関する方針が不明な場合は、製品の電源を入れる前にその場所の管理者や責任者の承認を得て下さい。

上記の指示に従わないと、死亡、重傷、または物的損害を負う可能性があります。

2.4 GHz 帯使用の無線機器について

無線 LAN モデルが使用する 2.4GHz 帯域では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. 無線 LAN モデルを使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局、特定小電力、無線局、アマチュア無線局等の「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、無線 LAN モデルと「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに無線 LAN モデルの使用チャンネルを変更するか、使用場所を変えるか、または無線 LAN モデルの運用を停止（電波の発射を停止）し、無線ネットワーク管理者および責任者と対処をご相談ください。

無線 LAN のセキュリティについて

無線 LAN では、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

1. 通信内容の盗用：
 - ・悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、ID やパスワード又はクレジットカード番号等の個人情報、メールの内容等の通信内容を盗み見られる可能性があります
2. 不正侵入：
 - ・悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、
 - ・個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
 - ・特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
 - ・傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
 - ・コンピュータウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）などの行為をされてしまう可能性があります。

取り付け

本無線 LAN 製品はセキュリティ関連の設定をするためのセキュリティ機能を持ち備えていますので、その設定を行うことで、上記問題が発生する可能性が低くなります。

セキュリティ機能を使用せずに無線 LAN 製品を使用した場合に起こりえる問題を十分に理解し、お客様ご自身の判断と責任においてセキュリティ関連の設定を行った上で無線 LAN 製品をご使用ください。

取り付け手順

パネルへの取り付け



感電、爆発、閃光アークの危険性

- ・ システムのカバーまたは部品を取り外す前、および付属品、ハードウェア、またはケーブルの取り付け／取り外しの前に、装置のすべての電源を外してください。
- ・ ディスプレイモジュールおよび電源供給元の両方から電源ケーブルを外してください。
- ・ 電源オフの確認は、必ず正しい定格の電圧検出装置を使用し、電源が供給されていないことを確認してください。
- ・ ディスプレイモジュールに電源を入れる前に、システム内のすべてのカバーおよび部品を取り付けて固定してください。

上記の指示に従わないと、死亡または重傷を負うことになります。

注記

機器の損傷

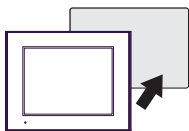
- ・ 縦取り付けの場合は、先にディスプレイモジュールにボックスモジュールを取り付けてから、パネルに取り付けてください。
- ・ 取り付け金具を取り付ける、または取り外す間は、パネルカットの中で本製品を安定させてください。

上記の指示に従わないと、物的損害を負う可能性があります。

手順	手順内容
1	縦取り付けの場合は、ディスプレイモジュールの表示面を下にして、清潔で水平なところに置き、ボックスモジュールをディスプレイモジュールに取り付けます。 注記： ボックスモジュールのディスプレイモジュールへの取り付け方法については、SP5000 シリーズハードウェアマニュアル、または SP5000 シリーズ (ボックスモジュール) 取扱説明書を参照してください。
2	ディスプレイモジュールの周囲にある防滴ガasketの溝に、防滴ガasketがしっかり装着されていることを確認します。 注記： 防滴ガasketは、防滴効果に加え振動吸収効果を得るために必ず使用してください。防滴ガasketの交換方法については、SP5000 シリーズハードウェアマニュアルを参照してください。

3

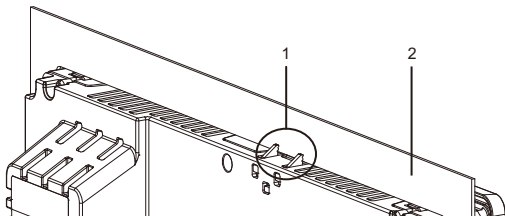
ディスプレイモジュールのパネルカット寸法 (20 ページ参照) に従って、パネルに取り付け穴を開け、ディスプレイモジュールを前面側から取り付けます。



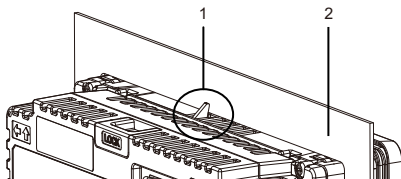
4

ディスプレイモジュールの上部にある脱落防止フックがパネルに掛かっていることを確認します。

SP-5400WA 以外



SP-5400WA



1 脱落防止フック

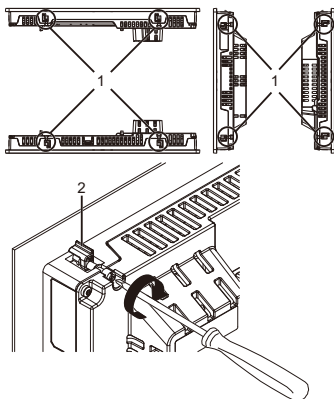
2 パネル

5

プラスドライバを使用し、上下左右にある取り付け金具を、対角かつ交互に少しずつ右回しに締めます。この際、取り付け金具の L 型部分 (下図 2) が垂直に上がりきった状態で固定されていることを確認してください。適正な締め付けトルクは $0.5 \text{ N}\cdot\text{m}$ ($4.4 \text{ lb}\cdot\text{in}$) です。

注記：

- ディスプレイモジュールが正しい位置に取り付けられていないと、脱落のおそれがあります。
- パネルが厚い (約 5 mm [0.2 in]) 場合、取り付け金具の L 型部分が回らないことがあります。その場合は本製品を正面から押さえながらネジを締めてください。



1 取り付け金具

2 取り付け金具の L 型部分

取り付け金具数

	上面図	底面図	右側面	左側面
15 インチモデル	2	2	2	2
12 インチ以下モデル	2	2	-	-

注記

エンクロージャの破損

取り付け金具のネジを締め付けるときに、0.5 N•m (4.4 lb-in) を大きく上回るトルクをかけないでください。

上記の指示に従わないと、物的損害を負う可能性があります。

取り外し手順

パネルからの取り外し



感電、爆発、閃光アークの危険性

- ・ システムのカバーまたは部品を取り外す前、および付属品、ハードウェア、またはケーブルの取り付け／取り外しの前に、装置のすべての電源を外してください。
- ・ ディスプレイモジュールおよび電源供給元の両方から電源ケーブルを外してください。
- ・ 電源オフの確認は、必ず正しい定格の電圧検出装置を使用し、電源が供給されていないことを確認してください。
- ・ 本製品に電源を入れる前に、システム内のすべてのカバーおよび部品を取り付けて固定してください。

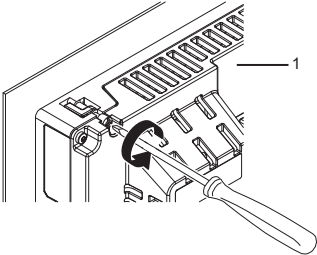
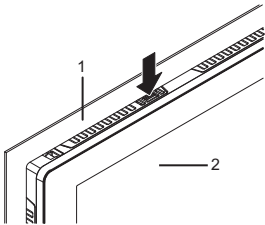
上記の指示に従わないと、死亡または重傷を負うことになります。

注記

機器の損傷

- ・ 縦取り付けの場合は、ディスプレイモジュールがパネルに付いたままの状態、ボックスモジュールをディスプレイモジュールから取り外さないでください。
- ・ 取り付け金具を取り付ける、または取り外す間は、パネルカットの中で本製品を安定させてください。

上記の指示に従わないと、物的損害を負う可能性があります。

手順	手順内容
1	プラスドライバを使用し、上下左右にある取り付け金具を、対角かつ交互に少しずつ左回しに緩めます。  1 背面 注記： ・ ご使用機種の取り付け金具数については、パネルへの取り付け のステップ 5 の取り付け金具数をご覧ください。(29 ページ参照) ・ パネルが厚い (約 5 mm [0.2 in]) 場合、取り付け金具の L 型部分が回らないことがあります。その場合は本製品を正面から押さえながらネジを締めてください。
2	ディスプレイモジュール上面の脱落防止フックを工具などで押し込みながら、ディスプレイモジュールをパネルからゆっくり取り外します。  1 パネル 2 前面

⚠ 注意**怪我のおそれ**

パネルから取り外す際は、本製品を落とさないようにご注意ください。

- ・ 金具を取り外した後、本製品を支えていてください。
- ・ 両手を使用してください。
- ・ 脱落防止フックを押し込む際は、指を怪我しないように十分ご注意ください。

上記の指示に従わないと、傷害または物的損害を負う可能性があります。

注記**機器の損傷**

脱落防止フックを押し込みながら、または脱落防止フックがパネルに当たらないよう、本製品を取り外してください。破損するおそれがあります。

上記の指示に従わないと、物的損害を負う可能性があります。



感電、爆発、閃光アークの危険性

- ・ システムのカバーまたは部品を取り外す前、および付属品、ハードウェア、またはケーブルの取り付け／取り外しの前に、装置のすべての電源を外してください。
- ・ 本製品の電力端子に配線を行う前に電源が供給されていないことを確認してください。
- ・ 電源オフの確認は、必ず正しい定格の電圧検出装置を使用し、電源が供給されていないことを確認してください。
- ・ 本製品に電源を入れる前に、システム内のすべてのカバーおよび部品を取り付けて固定してください。
- ・ 本製品は 12 ~ 24 Vdc 入力専用です。機種に合わない電源を供給すると電源および本製品が破損します。
- ・ 本製品には電源スイッチがないため、ブレーカーを取り付けてください。
- ・ 本製品の FG 端子を必ず接地してください。

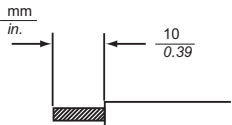
上記の指示に従わないと、死亡または重傷を負うことになります。

注記：

- ・ SG (信号接地) と FG (機能接地) は本製品内部で接続されています。
- ・ FG 端子を接続する場合はアースに落としてあるかを確認してください。本製品に接地が施されていないと、電磁妨害 (EMI) がひどくなる場合があります。

DC 電源ケーブルの準備

- ・ 接地線には電源線と同じかそれ以上の太さの線を使用してください。
- ・ 電源用のケーブルにアルミニウム電線を使用しないでください。
- ・ 短絡防止のため、推奨する絶縁スリーブ付き棒端子をご使用ください。
- ・ より線を使用する場合、芯線のよじりが適切でないと、芯線のヒゲ線同士またはヒゲ線と隣の電極とが短絡するおそれがあります。
- ・ 芯線の種類は単線またはより線です。
- ・ 取り付け銅芯線の温度定格は (75 °C (167 °F)) のみです。

電源ケーブルの太さ	0.75...2.5 mm ² (18...13 AWG)* ¹
芯線の状態	単線またはより線
芯線の長さ	
推奨ドライバ* ²	SZS 0.6 x 3.5 (1205053)
推奨棒端子* ²	3201288 Al 0,75 - 10 GY 3200182 Al 1 - 10 RD 3200195 Al 1,5 - 10 BK 3202533 Al 2,5 - 10 BU
推奨棒端子用圧着工具* ²	CRIMPFOX6

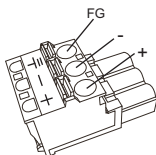
*1 UL 認証に適合させる場合は AWG14、または AWG13 を使用してください。

*2 品目はフェニックス・コンタクト(株)製です。

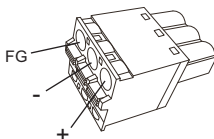
電源コネクタ仕様：スプリング端子台

SP-5400WA 以外の機種にライトアングルタイプの電源コネクタが同梱されています。SP-5400WA にはストレートタイプの電源コネクタが同梱されています。

ライトアングルタイプ



ストレートタイプ

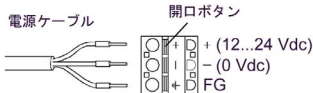


接続端子	配線
+	12...24 Vdc
-	0 Vdc
FG	本製品の筐体に接続されている接地用端子

注記：

- SP-5400WA には、ライトアングルタイプは接続できません。
- ライトアングルタイプ：(株)デジタル製 PFXZCBCNDC2
ストレートタイプ：(株)デジタル製 PFXZCBCNDC1

DC 電源ケーブル接続方法

手順	手順内容
1	通電されていないことを確認します。
2	定格電圧を確認し、電源部の「DC24V」と書かれたシールをはがします。
3	電源ケーブルからの各配線を棒端子に接続します。
4	小型のマイナスドライバーを使用して開口ボタンを押し、必要なピンの穴を開けます。
5	対応する電線の電源ケーブルを穴の奥まで差し込みます。開口ボタンを離すと穴が閉まり、固定されます。  より線を使用する場合は、隣の配線と短絡しないようにしてください。
6	3つの電線を挿入した後、DC 電源コネクタを本製品の電源コネクタに挿入します。

注記：ケーブルの接合部分にははんだ付けしないでください。

配線時の注意事項

過剰な応力が電源接続にかかったり本製品の取り付け作業を電源ケーブルを接続した状態で行ったりすると、接続が切れたり、電源接続部に破損が生じるおそれがあります。その結果、短絡、火災、または意図していない機器の動作が発生するおそれがあります。



短絡、火災、装置の意図しない動作

偶発的な接続の切り離しを防止するために、電源ケーブルに過剰な力を加えることを避けてください。

- ・ 電源ケーブルはパネルまたはキャビネットにしっかり固定してください。
- ・ 電源端子台の端子は正しいトルクで締めてください。
- ・ 本製品のパネルやキャビネットへの取り付けは電源ケーブルや通信線を接続する前に行なってください。

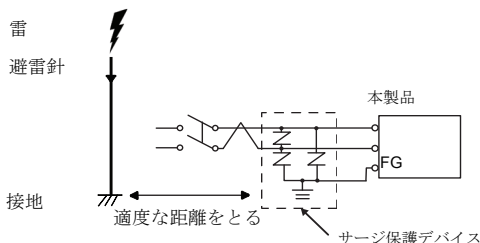
上記の指示に従わないと、死亡または重傷を負うことになります。

耐ノイズ/耐サージ性を高めるために

- ・ 本製品の主回路（高電圧、大電流）線、動力線、入出力線、電源ケーブルは、それぞれ束線や接近することなく、系列を分離して配線してください。動力線を別系統で配線できない場合は、入出力線としてシールドケーブルを使用してください。
- ・ 電源ケーブルはできるだけ短くし、必ず電源供給部に近いところから、より合わせて（ツイストペアで）接続してください。
- ・ 電源ラインのノイズが多い場合、絶縁トランスを接続し、ノイズを減少させてから給電してください。
- ・ 雷サージ対策に、雷サージアブソーバを接続してください。
- ・ 耐ノイズ性を高めるためには、電源ケーブルにフェライトコアを取り付けてください。

電源の接続

- SP-5400WA 以外の機種の場合は分岐回路保護装置は、定格 20 A 12 ～ 24 Vdc 入力を使用します。
- SP-5400WA 以外の機種の電源には絶縁 DC 入力をご使用ください。
- SP-5400WA への DC 入力は、必ず Class 2 電源でご使用ください。
- 以下にサージ保護デバイス (SPD) 接続を示します。



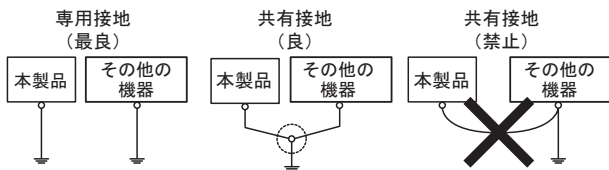
直撃雷による大きな電磁界の影響により誘導雷サージが発生し、本製品の破損を招くおそれがありますので、サージ防護デバイス (SPD) を設置してください。また、本製品のわたり接地線は、できるだけサージ防護デバイス (SPD) の接地端子に近い位置に接続することをお勧めします。

落雷時の大きな雷サージエネルギーが避雷針の接地へ流れることにより、接地電位の変動による本製品への影響が予測されます。避雷針の接地点と、防護デバイス (SPD) の接地点を十分離すことをお勧めします。

接地

- ・ 接地抵抗が $100\ \Omega$ 以下であることを確認してください。^{*1}
- ・ $2\ \text{mm}^2$ (AWG14) 以上の FG(接地用) 電線を使用してください。^{*1} 接地点は、本製品の近くで接地線の距離を短くしてください。接地線が長くなる場合は、太い絶縁線を通して敷設してください。

^{*1} 地域の規定および基準に従ってください。



短絡防止

- ・ SG(信号接地) と FG(機能接地) は本製品内部で接続されています。他の機器と SG を接続する場合、短絡ループが形成されないように注意してください。

フロント USB カバー

プレミアムディスプレイでは、工場出荷時に取り付け済みのフロント USB カバー（ネジなし）を使用する場合、フロント面は、IP65F^{*1}、IP67F^{*1} またはタイプ 1 エンクロージャとなります。フロント USB カバーに（株）デジタル製フロント USB カバー（ネジ付き^{*2}）（型式：PFXZCDCVUS1）をご使用の場合、本製品のフロント面は、IP66F^{*1}、IP67F^{*1}、タイプ 1、タイプ 4X（室内専用）またはタイプ 13 エンクロージャとなります。

注記：アドバンスディスプレイにはフロント USB ポートはありません。

工場出荷時に取り付け済みのフロント USB カバー、またはネジ付きフロント USB カバーのいずれをご使用の場合も、フロント USB カバーが開いている状態のときは、本製品のフロント面は、タイプ 1 エンクロージャとなります。

注意

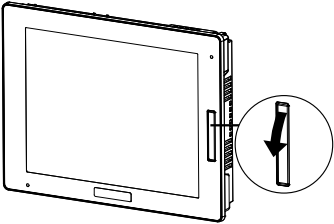
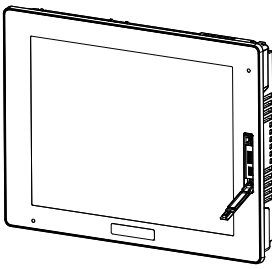
怪我のおそれ

フロント USB カバーを開ける際は、指を怪我しないように十分ご注意ください。

上記の指示に従わないと、傷害または物的損害を負う可能性があります。

^{*1} IP65F、IP66F および IP67F は UL 認証には該当しません。

^{*2} 適正な締め付けトルクは 0.5 N•m (4.4 lb-in) です。

手順	手順内容
1	フロント USB カバー上部のすき間に指先またはドライバなどの工具を入れ、手前に引きます。  注記： ・ (株) デジタル製オプションのフロント USB カバー (型式：PFXZCDCVUS1) をご使用の場合は、上部のネジをプラスドライバを使用して緩めます。 ・ 適正な締め付けトルクは 0.5 N・m (4.4 lb-in) です。
2	フロント USB カバーを手前に下げると、USB インターフェイスが現れます。 

注記

エンクロージャの破損

ネジを締め付けるときに、0.5 N•m (4.4 lb-in) を大きく上回るトルクをかけないでください。

上記の指示に従わないと、物的損害を負う可能性があります。

フロント USB ポート

USB 接続

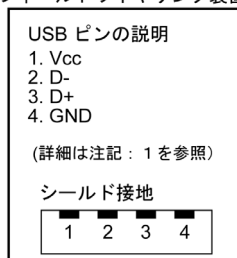
非発火性フィールドワイヤリング装置 (マウス、キーボード) は、関連する非発火性フィールドワイヤリング装置 (本製品) のフロント USB ポート (Type A) で利用できます。非発火性フィールドワイヤリング装置 (本製品) は、関連する非発火性フィールドワイヤリング装置 (コンピュータ) のフロント USB ポート (mini-B) で利用できます。

USB ポートに接続する装置は、非発火性だけでなく、以下の基準も満たす必要があります。

USB ケーブルの配線は以下のとおりです。

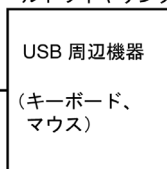
<Type A>

関連する非発火性
フィールドワイヤリング装置



Class I、Division 2、Groups A、
B、C、Dまたは非危険区域

非発火性
フィールドワイヤリング装置



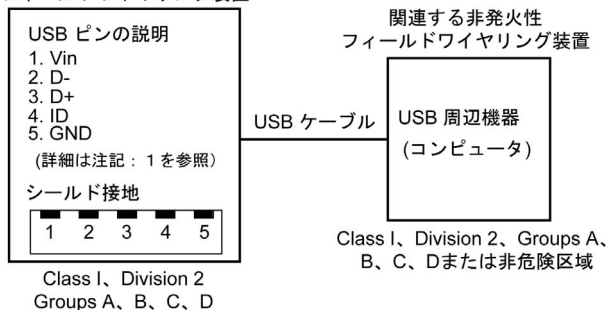
Class I、Division 2
Groups A、B、C、D

回路パラメータ	フロント USB(Type A)
回路電圧 = V_{oc}	5.25 V
短絡電流 = I_{sc}	1300 mA
関連するコンダクタンス容量 = C_a	265 μ F
関連するインダクタンス容量 = L_a	16 μ H

<mini-B>

非発火性

フィールドワイヤリング装置



回路パラメータ	フロント USB(mini-B)
最大入力電圧 = $V_{\max}$	5.25 V
最大負荷電流 = $I_{\max}$	0.1 mA
内部コンダクタンス容量 = C_i	0.24 μF
内部インダクタンス容量 = L_i	16 μH

注記：

1. 非発火性回路パラメータは、上表のとおりです。

非発火性装置は次の条件の場合、組み合わせシステムとして未評価でも接続可能です。
本製品（関連する装置）の V_{oc} （もしくは U_o ）および I_{sc} （もしくは I_o ）が非発火性装置の $V_{\max}(U_i)$ および $I_{\max}(I_i)$ の値以下であること。接続する非発火性装置と接続ケーブルの最大コンダクタンス容量 $C_i + C_{\text{cable}}$ と最大インダクタンス容量 $L_i + L_{\text{cable}}$ が、関連する装置の $C_a(C_o)$ と $L_a(L_o)$ の値以下であること。

2. 関連する非発火性フィールドワイヤリング装置と非発火性フィールドワイヤリング装置は以下の条件を満たすこととします。

関連する非発火性フィールドワイヤリング装置	-	非発火性フィールドワイヤリング装置
V_{oc}	$\leq$	$V_{\max}$
I_{sc}	$\leq$	$I_{\max}$
C_a	$\geq$	$C_i + C_{\text{cable}}$
L_a	$\geq$	$L_i + L_{\text{cable}}$

3. ケーブルの電気的パラメータが不明な場合、以下の値を使用できます。

$$C_{\text{cable}} = 196.85 \text{ pF/m (60 pF/ft)}$$

$$L_{\text{cable}} = 0.656 \text{ } \mu\text{H/m (0.20 } \mu\text{H/ft)}$$

4. 接続方法は、使用する国が定める電気工事規定に準拠する必要があります。

本製品はエンクロージャに設置してください。Class I、Division 2 の領域に設置した場合、エンクロージャは Division 2 の接続方法に 1 つ以上対応している必要があります。

危険

爆発のおそれ

- ・ 電源と入出力 (I/O) の配線が Class I、Division 2 の配線方法に従って行なわれているか確認してください。
- ・ Class I、Division 2 への適合性を損なうおそれがあるので代替部品は使用しないでください。
- ・ 電源を遮断するか、危険区域でないことが確認できない限り、装置の切り離しをしないでください。
- ・ 本製品にコネクタを取り付ける場合、または本製品からコネクタを取り外す場合は、その前に給電を止めてください。
- ・ 電源、通信、および付属品の接続はポートに過剰な応力がかからないように行ってください。設置場所を決定するときは、振動環境を考慮してください。
- ・ 電源、通信、および外部のケーブルはパネルまたはキャビネットにしっかりと取り付けてください。
- ・ 市販の USB ケーブルのみを使用してください。
- ・ 非発火性 USB 機器以外は接続しないでください。
- ・ 関連する非発火性装置が利用できない場合、関連する非発火性フィールドワイヤリング装置はパラレル接続しないでください。
- ・ 本製品は Class I、Division 2、Groups A、B、C、D の危険区域での使用、および非発火性フィールドワイヤリング装置との接続が可能です。

上記の指示に従わないと、死亡または重傷を負うことになります。

規格

対象機種、証明書などの規格詳細については、下記 URL もしくは製品マーケティングにてご確認ください。

<http://www.proface.co.jp/worldwide.html>

危険

爆発のおそれ

- Class I, Division 2, Groups A, B, C, D の危険区域での使用。
- Class I, Division 2 への適合性を損なうおそれがあるので代替部品は使用しないでください。
- 電源を遮断するか、危険区域でないことが確認できない限り、装置の切り離しをしないでください。
- 製品ラベルに記載された ANSI/ISA 12.12.01 または CSA C22.2 N N-213 証明書を確認して、本製品が危険区域での使用に適合していることを確認してください。
- 本書で許可されていない方法で本製品を設置、操作、変更、保守、修理したり改造したりしないでください。許可されていない行為は、本製品の Class I, Division 2 における作動の適合性を損なうおそれがあります。
- Class I, Division 2 の危険区域に取り付けた本製品の電源を入切する場合、以下のことを順守してください。
 - 危険区域外に設置されたスイッチを使用する。
 - Class I, Division 1 の危険区域での操作が認証されたスイッチを使用する。
- 装置の接続を切る際には、電源が入っていないことおよび装置区域に危険物がないことを必ず先に確認してから行ってください。これは電源、接地、シリアル、パラレル、およびネットワーク接続など、すべての接続に適用されます。
- 危険区域では、シールドされていないケーブルや接地されていないケーブルを決して使用しないでください。
- キャビネットに設置する場合は、扉および開口部を常時閉じた状態にし、装置内に異物が堆積しないようにしてください。

上記の指示に従わないと、死亡または重傷を負うことになります。

お問い合わせ

本製品でお困りのこと、ご質問など、いつでも解決のお手伝いをさせていただきます。

弊社サポートサイト「おたすけ Pro!」へアクセスしてください。

<http://www.proface.co.jp/otasuke>

Note

本製品を使用したことによるお客様の損害その他の不利益、または第三者からのいかなる請求につきましても、当社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

Wireless LAN Information

USA

SP-5660TP contains Transmitter Module FCC ID: N6C-SDMGN

FCC CAUTION

Changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

NOTE: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class A digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference when the equipment is operated in a commercial environment. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instruction manual, may cause harmful interference to radio communications. Operation of this equipment in a residential area is likely to cause harmful interference in which case the user will be required to correct the interference at his own expense.

This transmitter must not be co-located or operated in conjunction with any other antenna or transmitter.

This equipment complies with FCC radiation exposure limits set forth for an uncontrolled environment and meets the FCC radio frequency (RF) Exposure Guidelines in Supplement C to OET65. This equipment should be installed and operated keeping the radiator at least 20 cm or more away from person's body (excluding extremities: hands, wrists, feet and ankles).

Canada

SP-5660TP contains Transmitter Module IC: 4908B-SDMGN

This device complies with Industry Canada licence-exempt RSS standard(s). Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause interference, and (2) this device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device.

Le présent appareil est conforme aux CNR d'Industrie Canada applicables aux appareils radio exempts de licence. L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes : (1) l'appareil ne doit pas produire de brouillage, et (2) l'utilisateur de l'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.

This equipment complies with IC radiation exposure limits set forth for an uncontrolled environment and meets RSS-102 of the IC radio frequency (RF) Exposure rules. This equipment should be installed and operated keeping the radiator at least 20cm or more away from person's body (excluding extremities: hands, wrists, feet and ankles).

Cet équipement est conforme aux limites d'exposition aux rayonnements énoncées pour un environnement non contrôlé et respecte les règles d'exposition aux fréquences radioélectriques (RF) CNR-102 de l'IC. Cet équipement doit être installé et utilisé en gardant une distance de 20 cm ou plus entre le dispositif rayonnant et le corps (à l'exception des extrémités : mains, poignets, pieds et chevilles).

Europe



EN300 328, EN301 489, EN60950-1

SP-5660TP may be operated in Belgium, Bulgaria, Czech Republic, Denmark, Germany, Estonia, Greece, Spain, France, Ireland, Italy, Cyprus, Latvia, Lithuania, Luxembourg, Malta, Hungary, Netherlands, Austria, Poland, Portugal, Romania, Slovak Republic, Slovenia, Finland, Sweden, United Kingdom.

EN	Hereby, Pro-face, declares that this SP-5660TP is in compliance with the essential requirements and other relevant provisions of Directive 1999/5/EC.
BG	С настоящето, Pro-face, декларира, че SP-5660TP е в съответствие със съществените изисквания и другите приложими разпоредби на Директива 1999/5/EC.
CS	Pro-face tímto prohlašuje, že SP-5660TP splňuje základní požadavky a všechna příslušná ustanovení Směrnice 1999/5/ES.
DA	Undertegnede Pro-face erklærer herved, at følgende udstyr SP-5660TP overholder de væsentlige krav og øvrige relevante krav i direktiv 1999/5/EF.
DE	Hiermit erklärt Pro-face, dass sich das Gerät SP-5660TP in Übereinstimmung mit den grundlegenden Anforderungen und den übrigen einschlägigen Bestimmungen der Richtlinie 1999/5/EG befindet.
ET	Käesolevaga kinnitab Pro-face seadme SP-5660TP vastavust direktiivi 1999/5/EÜ põhinõuetele ja nimetatud direktiivist tulenevatele teistele asjakohastele sätetele.
EL	ΜΕ ΤΗΝ ΠΑΡΟΥΣΑ Ο ΚΑΤΑΣΚΕΥΑΣΤΗΣ Pro-face ΔΗΛΩΝΕΙ ΟΤΙ SP-5660TP ΣΥΜΜΟΡΦΩΝΕΤΑΙ ΠΡΟΣ ΤΙΣ ΟΥΣΙΩΔΕΙΣ ΑΠΑΙΤΗΣΕΙΣ ΚΑΙ ΤΙΣ ΛΟΙΠΕΣ ΣΧΕΤΙΚΕΣ ΔΙΑΤΑΞΕΙΣ ΤΗΣ ΟΔΗΓΙΑΣ 1999/5/ ΕΚ

ES	Por la presente, Pro-face, declara que este SP-5660TP cumple con los requisitos esenciales y otras exigencias relevantes de la Directiva 1999/5/EC.
FR	Par la présente, Pro-face déclare que l'appareil SP-5660TP est conforme aux exigences essentielles et aux autres dispositions pertinentes de la directive 1999/5/CE.
IT	Con la presente Pro-face dichiara che questo SP-5660TP è conforme ai requisiti essenziali ed alle altre disposizioni pertinenti stabilite dalla direttiva 1999/5/CE.
LV	Ar šo Pro-face deklarē, ka SP-5660TP atbilst Direktīvas 1999/5/EK būtiskajām prasībām un citiem ar to saistītajiem noteikumiem.
LT	Šiuo Pro-face deklaruoja, kad šis SP-5660TP atitinka esminius reikalavimus ir kitas 1999/5/EB Direktyvos nuostatas
HU	A Pro-face ezzennel kijelenti, hogy a SP-5660TP típusú beren-dezés teljesíti az alapvető követelményeket és más 1999/5/EK irányelvben meghatározott vonatkozó rendelkezéseket.
NL	Hierbij verklaart Pro-face dat het toestel I SP-5660TP in overeenstemming is met de essentiële eisen en de andere relevante bepalingen van richtlijn 1999/5/EG.
PL	Niniejszym Pro-face deklaruje że SP-5660TP jest zgodny z zasadniczymi wymaganiami i innymi właściwymi postanowieniami Dyrektywy 1999/5/EC.
PT	Eu, Pro-face, declaro que o SP-5660TP cumpre os requisitos essenciais e outras provisões relevantes da Directiva 1999/5/EC.

RO	Prin prezenta, Pro-face, declară că aparatul SP-5660TP este în conformitate cu cerințele esențiale și cu alte prevederi pertinente ale Directivei 1999/5/CE.
SK	Pro-face týmto vyhlasuje, že SP-5660TP spĺňa základné požiadavky a všetky príslušné ustanovenia Smernice 1999/5/ES.
SL	Pro-face izjavlja, da je ta SP-5660TP v skladu z bistvenimi zahtevami in drugimi relevantnimi določili direktive 1999/5/ES.
FI	Pro-face vakuuttaa täten että SP-5660TP tyyppinen laite on direktiivin 1999/5/EY oleellisten vaatimusten ja sitä koskevien direktiivin muiden ehtojen mukainen.
SV	Denna utrustning är i överensstämmelse med de väsentliga kraven och andra relevanta bestämmelser i direktiv 1999/5/EC.

China

1. SP-5660TP 的使用方法

- 使用频率：2.4 - 2.4835 GHz
等效全向辐射功率(EIRP)：
天线增益 < 10dBi时：≤100 mW 或≤20 dBm
- 最大功率谱密度：
天线增益 < 10dBi时：≤10 dBm / MHz(EIRP)
- 载频容限：20 ppm
- 带外发射功率(在2.4-2.4835GHz频段以外) ≤-80 dBm / Hz (EIRP)
- 杂散发射(辐射)功率(对应载波±2.5倍信道带宽以外)：
 - ≤-36 dBm / 100 kHz (30 - 1000 MHz)
 - ≤-33 dBm / 100 kHz (2.4 - 2.4835 GHz)
 - ≤-40 dBm / 1 MHz (3.4 - 3.53 GHz)
 - ≤-40 dBm / 1 MHz (5.725 - 5.85 GHz)
 - ≤-30 dBm / 1 MHz (其它1 - 12.75 GHz)

2.

不得擅自更改发射频率、加大发射功率(包括额外加装射频功率放大器)，
不得擅自外接天线或改用其它发射天线；

3.使用时不得对各种合法的无线电通信业务产生有害干扰；一旦发现有干扰现象时，应立即停止使用，并采取措施消除干扰后方可继续使用；

4.使用微功率无线电设备，必须忍受各种无线电业务的干扰或工业、科学及医疗应用设备的辐射干扰；

5.不得在飞机和机场附近使用。

Korea

해당 무선설비는 운용 중 전파혼신 가능성이 있음

사용자안내문

기종별	사용자안내문
A급 기기 (업무용 방송통신기자재)	이 기기는 업무용(A급) 전자파적합기기로서 판매자 또는 사용자는 이 점을 주의하시기 바라며, 가정외의 지역에서 사용하는 것을 목적으로 합니다.

해당 무선설비는 전파혼신 가능성이 있으므로 인명안전과 관련된 서비스는 할 수 없습니다

Taiwan

低功率電波輻射性電機管理辦法

第十二條

經型式認證合格之低功率射頻電機，非經許可，公司、商號或使用者均不得擅自變更頻率、加大功率或變更原設計之特性及功能。

第十四條

低功率射頻電機之使用不得影響飛航安全及干擾合法通信；經發現有干擾現象時，應立即停用，並改善至無干擾時方得繼續使用。前項合法通信，指依電信法規定作業之無線電通信。低功率射頻電機須忍受合法通信或工業、科學及醫療用電波輻射性電機設備之干擾。

Japan

SP-5660TP には、認証済み無線機器を搭載しています。

中国 RoHS 相关资料

(本资料是中国 RoHS 的必备资料。)
(この情報、中国 RoHS に対して必要な情報です。)
(This information is essential for China RoHS.)

 部件名称 (Parts)	有毒有害物质或元素					
	铅 (Pb)	汞 (Hg)	镉 (Cd)	六价铬 (Cr6+)	多溴联苯 (PBB)	多溴二苯醚 (PBDE)
电子线路板 (Electronic board)	×	○	○	○	○	○
显示器 (LCD)	×	○	○	○	○	○
底座 & 罩盖 (Base & Cover)	○	○	○	○	○	○

○：表示该有毒有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在 SJ/T11363-2006 标准规定的限量要求以下。

Indicates that the concentration of the hazardous substance in all homogeneous materials in the parts is below the relevant threshold of the SJ/T11363-2006 standard.

×：表示该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出 SJ/T11363-2006 标准规定的限量要求。

Indicates that the concentration of the hazardous substance of at least one of all homogeneous materials in the parts is above the relevant threshold of the SJ/T11363-2006 standard.

本表显示了，在销售之日所售产品中，普洛菲斯供应链的电子产品信息可能含有的有毒有害物质或元素。

注意：所售产品可能会也可能不会含有表中所列的所有部件。

This table shows where these substances may be found in the supply chain of "Pro-face" electronic information products, as of the date of sale of the enclosed product. Note that some of the component types listed above may or may not be a part of the enclosed product.